

大学生生活理解深める

白糠高校 講師招き進路講話

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の進路指導部と同校生徒対象の公営塾「久遠塾」は18日、産業能率大学経営学部（東京都）の2年生2人を招いた進路講話の授業を同校で行った。1、2年生41人が大学生活などについて理解を深めた。

同校の大学進学者が少ないことを受け、大学を進路選択の一つとして考えてもらおうと、同校の「魅力化プロジェクト」のアドバイザー

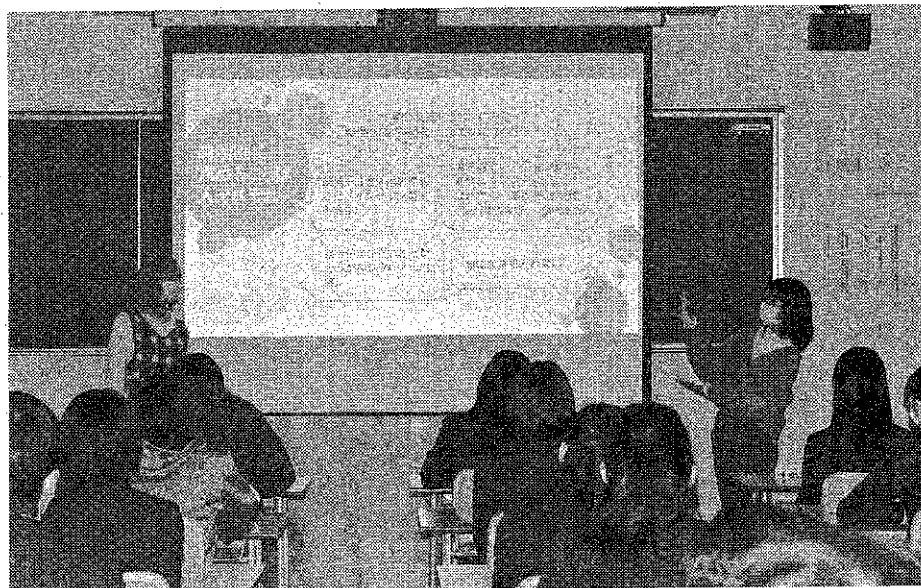
ザ「プリマペンギン」（本社東京都）から講師の紹介を受けた。講師は同大学経営学部の川村奈央さん（標津町出身）とマーケティング学科の佐藤美夢さん（中標津町出身）で、2人とも釧路湖陵高校卒。

授業では、ユーモアを交えながらスライドでアルバイトや時間割の決め方、進学のリット、受験での苦労などを紹介。「高卒と大卒では生涯年収に大きな違

いがある、好きなように時間を組み替えられる、高校とは違って自分が楽しいことを学べる、大学は勉強以外にも入る方法がある、の四つを覚えて帰ってほしい」と締めくくった。

石井寿鶴さん（2年）は「自分で調べるだけでは分からないことが多かったの

で、実際に話を聞いて大学のイメージががらりと変わった」と謝辞を述べた。



大学生生活について語る川村さんと佐藤さん（左から）